菊豆（チュイトウ）（1990）

菊豆
JU DOU

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 中国／日本
色彩 Color
時間 94分
初公開日 1990/04/28
公開情報 大映

【キャッチコピー】
二人の愛を　許して下さい。

【解説】
　チャン・イーモウ（張藝謀）の三作目で、「紅いコーリャン」の日本での大ヒットに気を良くした配給元の東光徳間（大映）の社長が製作総指揮に当たった日中資本合作映画。張は独特の“赤”に対する感覚を活かしたくて、原作の設定である農家を染物屋に変え、また、おびただしい数の布の吊された垂直の構図を重視してスタンダード画面を選択した。ということからも、彼の映像への極端な追従は指摘できるだろう。物語は再び、解放前の中国で意にそぐわぬ相手（それが染物屋の主人）に嫁がされる娘を主人公に展開される。
年老いた夫の折檻を逃れ、彼の甥との不倫に走る菊豆。夫は自分が子を作る能力を失ったため、その腹いせに妻に辛く当たったのだが、図らずも甥との間に息子が生まれ、卒中で半身不随になった夫ではあったが、物心ついた坊やをつかまえ、自らを“父”と呼ばせようとする……。この妻妾同居ならぬ、夫と同居しながらも愛人との家庭（もはや店は彼らで切り盛りしているから仕方なくはあるのだが）を営み、息子の愛情を双方で奪い合うという状況は奇妙だが、かなり劇的。作品の興趣もここにあると思うが、そこで先述の絵的なくどさが物語に空疎な印象を与えてしまうのだ。張のこうした傾向の修正は次々作の「秋菊の物語」まで待たなくてはならないが、ヒロインのコン・リー（鞏俐）の美しさの絶頂はたぶん本作にあるだろう。

【クレジット】

監督	チャン・イーモウ	Zhang Yimou
	ヤン・フォンリャン	Yang Feng-Liang
製作総指揮	徳間康快	
	チャン・ウェンツォ	
	フー・チェン	
原作	リュウ・ホン	Liu Heng
脚本	リュウ・ホン	Liu Heng
撮影	クー・チャンウェイ	Gu Chang-Wei
	ヤン・ラン	Yang Lun
音楽	チャオ・チーピン	Zhao Jiping
出演	コン・リー	Gong Li
	リー・パオティエン	Li Bao-Tian
	リー・ウェイ	Li Wei
	張毅	Zhang Yi

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.